

紙芝居「戦争と狛江の子ども達」噴水前広場上演会

狛江に空襲があった5月25日を記念して、
焼失した狛江小学校の石碑そばで実施して、紙芝居の継承と普及を行いました。

25日より少し後の、5月28日の日曜日に、
準備を入れて午後2時～4時に行いました。

実施内容：

○公開リハーサル：2時15分～50分

本番：3時～4時

○南京玉すだれ：きんたの会さん

○紙芝居「戦争と狛江の子ども達」

終了後、言葉の解説や模擬焼夷弾、狛江の空襲の説明をしました。

○終わりに、みんなで「水と緑のまち」を合唱しました。

実施結果：

○30数名の子どもを含め、100名近い参加者がありました。小学校に配布した案内チラシを見て来た子どもと大人が大半と思われ
ますが、通りすがりで参加した親子連れなども見られました。

○南京玉すだれを初めて目にする人が多く、手拍子で次第に雰囲気慣れて行きました。

○30分もある紙芝居にじっと聞き入る子どもたち、外での開催の割に、集中して聞いていました。

○「戦争体験、同じだった」と語る女性、「青空上演、いいね！」の声など、好評でした。



「きんたの会」さんによる南京玉すだれ



熱演する紙芝居グループ



手製の焼夷弾模型を掲げる
佐久間副実行委員長



司会をする大熊実行委員長